

学校法人 北陸大谷学園 行動計画

職員が仕事と子育てを両立（調和）させることで、全職員が働きやすい雇用環境を作り、すべての職員がその能力を十分に発揮できるようにすると共に、女性が活躍できる環境を整備するため、次のような行動計画を策定する。

1. 計画期間 令和5年3月21日 ～ 令和10年3月31日までの5年間

2. 目標内容

目標1：男女とも常時雇用率向上をベースにし、女性の活躍できる職場と社会を目指す。

目標2：育児休業・介護休業及び年次有給休暇取得率向上を目指す。

目標3：働きやすい職場を構築するため、風土の改善と環境整備を目指す。

目標4：働きやすい地域・社会となるように、全生徒教職員が「育児休業・介護休業」に関する教育を共に学ぶ。

3. 対策内容

I 男女常時雇用率

令和5年3月現在の男女常時雇用率は「男子58.9%」「女子41.1%」である。

今後5年間（令和10年）で男女常時雇用率「男子55.0%」「女子45.0%」をめざす。

II 男女管理職の常時雇用率

令和5年3月現在の男女管理職率は「男子72.2%」「女子27.8%」である。

今後5年間（令和10年）で男女管理職率「男子70.0%」「女子30.0%」をめざす。

III 育児休業及び介護休業

令和5年4月～「育児・介護休業」並びに子育てや家族「介護や看護」支援しやすい環境を目標に定める。

- ① 「介護や看護」の為に1時間単位の休暇が取得しやすい環境を目標に定める。
- ② 「育児・介護と仕事」の両立がしやすい環境を目標に定める。
- ③ 産後パパ育休等、女性パートナーと共に両立しやすい環境を目標に定める。

IV 職場風土の改善と環境整備

令和5年4月～ 地域に根差した職場を目指し、子供の教育や行事等に積極的な参加ができるように時間単位年休、半日、1日年休が取得しやすい環境を目標に定める。

- ① ストレスチェック実施率100%を目指す。
- ② ストレスチェックの結果対策として「校長、園長、校医」による面談を行う。
- ③ ストレスチェック結果を基に、環境衛生委員会による「働きやすい環境」の整備に努める。

V 育児休業・介護休業に関する教育

令和5年4月～「育児・介護」休業（休暇）の教育（研修）を行い、働きやすい社会を目標に努める。

- ① 育児・介護休業取得の意義
- ② 家族への協力と理解
- ③ 本教職員が取得する際の生徒、保護者の理解